



# **レベルII 胎児心臓超音波検査 オンライン多施設間全国登録について**

**日本胎児心臓病学会 総務委員会**

**瀧間浄宏、池田智明、武井黄大、  
加地剛、河津由紀子、川崎有希、稲村昇**



# 胎児心臓超音波検査専門施設

## 2020年 70施設→2021年 74施設

### 北海道

- ▶ 手稲深仁会病院 小児循環器科
- ▶ 旭川医科大学 小児科
- ▶ 市立札幌病院 新生児内科
- ▶ 旭川厚生病院 産婦人科
- ▶ 北海道大学病院 小児科
- ▶ 札幌医科大学附属病院 小児科

### 東北

- ▶ 弘前大学医学部附属病院 周産母子センター
- ▶ 岩手医科大学附属病院 小児科
- ▶ 宮城県立こども病院 循環器科
- ▶ 秋田大学医学部附属病院 小児科・産婦人科

### 関東

- ▶ 茨城県立こども病院 小児循環器科
- ▶ 筑波大学附属病院 小児科
- ▶ 自治医科大学附属病院自治医科大学  
とちぎ子ども医療センター 小児科・産婦人科
- ▶ 獨協医科大学 総合周産期母子医療センター
- ▶ 群馬県立小児医療センター 産科
- ▶ 埼玉県立小児医療センター 循環器科
- ▶ 埼玉医科大学総合医療センター小児科 小児科・小児循環器部門
- ▶ 国際医療福祉大学成田病院
- ▶ 千葉大学病院 周産期母性科
- ▶ 亀田総合病院 産婦人科
- ▶ 千葉県立こども病院 循環器内科
- ▶ 東邦大学医療センター大森病院 新生児科
- ▶ 日本大学医学部附属板橋病院 小児科
- ▶ 東京都立小児総合医療センター
- ▶ 国立成育医療研究センター 胎児診療科・循環器科
- ▶ 東京女子医科大学病院 循環器小児科・産科
- ▶ 東京大学付属病院 胎児心臓病外来
- ▶ 東京都立大塚病院 総合周産期母子医療センター
- ▶ 慶応義塾大学病院 産科
- ▶ 昭和大学病院 小児循環器・成人先天性心疾患センター
- ▶ 昭和大学病院 産婦人科
- ▶ 神原記念病院 小児循環器科
- ▶ 日本赤十字社医療センター 新生児科・産婦人科
- ▶ 順天堂大学医学部附属順天堂医院 産科・婦人科
- ▶ 北里大学病院 総合周産期母子医療センター
- ▶ 神奈川県立こども医療センター 循環器内科

### 甲信越北陸

- ▶ 新潟大学 小児科
- ▶ 富山大学 小児科
- ▶ 金沢大学附属病院 周産母子センター
- ▶ 福井愛育病院 小児科
- ▶ 山梨大学附属病院 小児科・産婦人科
- ▶ 山梨県立中央病院総合周産期母子医療センター 産科
- ▶ 長野県立こども病院 循環器小児科・産婦人科

### 中部

- ▶ 静岡県立こども病院 循環器科
- ▶ 名古屋第二赤十字病院 小児科
- ▶ あいち小児保健医療総合センター 新生児科・産科
- ▶ JCHO中京病院 中京こどもハートセンター 小児循環器科

### 近畿

- ▶ 京都府立医科大学附属病院 小児科
- ▶ 京都大学医学部附属病院 小児科
- ▶ 大阪市立総合医療センター 小児科
- ▶ 国立循環器病研究センター 小児循環器内科・産婦人科部門
- ▶ 公益財団法人 田附興風会 医学研究所 北野病院 小児科
- ▶ 大阪府母子医療センター 小児循環器科
- ▶ 大阪医科大学病院 小児科・産婦人科
- ▶ 近畿大学医学部附属病院 小児科
- ▶ 加古川中央市民病院 小児循環器内科
- ▶ なでしこレディースホスピタル 小児科
- ▶ 兵庫県立こども病院 循環器内科
- ▶ 兵庫県立尼崎総合医療センター 小児循環器内科
- ▶ 奈良県立医科大学付属病院 産婦人科・新生児科
- ▶ 日本赤十字社 和歌山医療センター 小児科

### 中国・四国

- ▶ 倉敷中央病院 小児科
- ▶ 岡山大学病院小児循環器科・産婦人科
- ▶ あかね会土谷総合病院 小児科
- ▶ 広島市民病院・循環器小児科
- ▶ 総合病院山口赤十字病院 産婦人科
- ▶ 徳島大学病院 産科婦人科
- ▶ 国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター 小児循環器内科・産婦人科
- ▶ 愛媛大学医学部附属病院 周産母子センター 小児科

### 九州

- ▶ 九州大学病院 周産母子センター
- ▶ 福岡市立こども病院 胎児循環器科
- ▶ 久留米大学病院 小児科
- ▶ 熊本市民病院 産科
- ▶ 鹿児島大学病院 周産母子センター 産科



# 目的

**多施設間 レベルII 胎児心臓超音波検査登録の解析**



# 方法

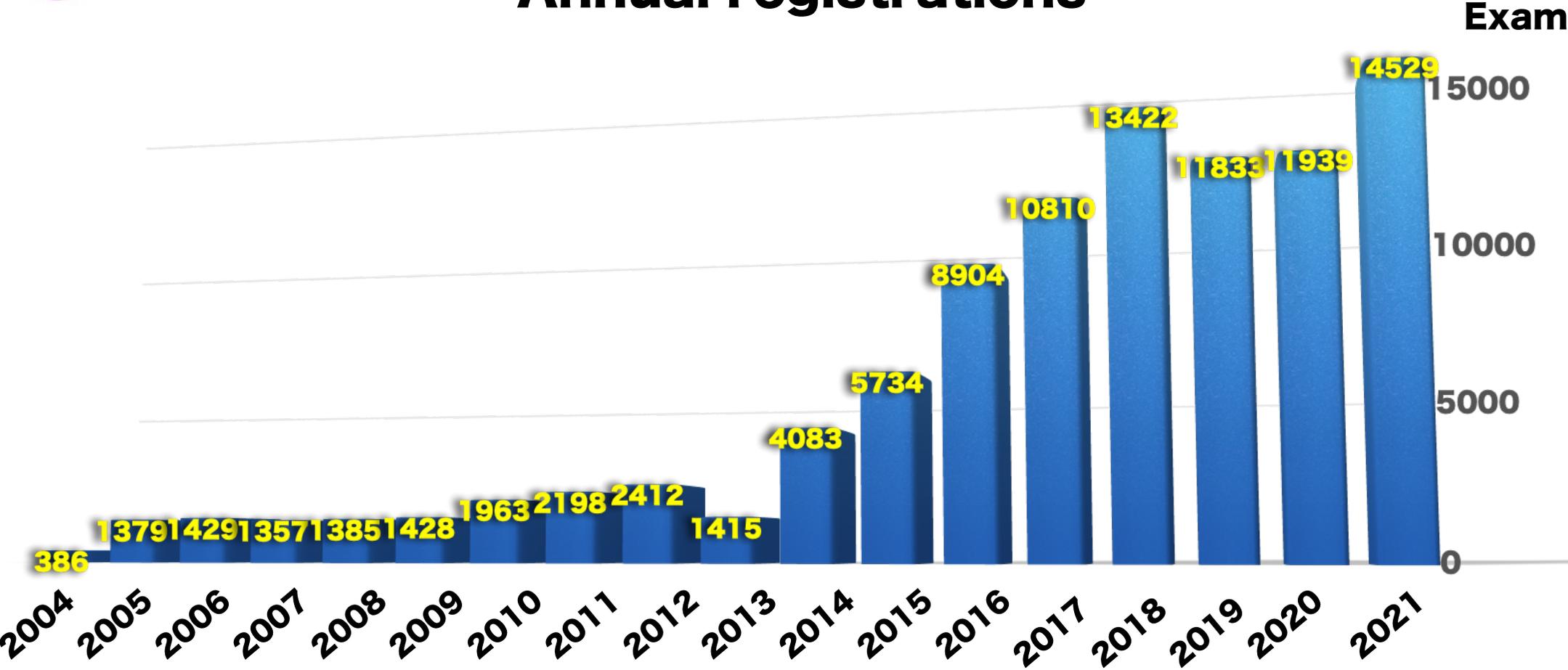
**2004年10月1日より2021年12月31日までの  
オンライン登録データ  
レベル(II)胎児心臓超音波検査 96634件**

**胎児心臓超音波検査専門施設 74施設**

**登録の経年変化、各県の登録数およびNDBオープンデータとの  
比較、疾患分類や疾患別登録割合等について解析。**

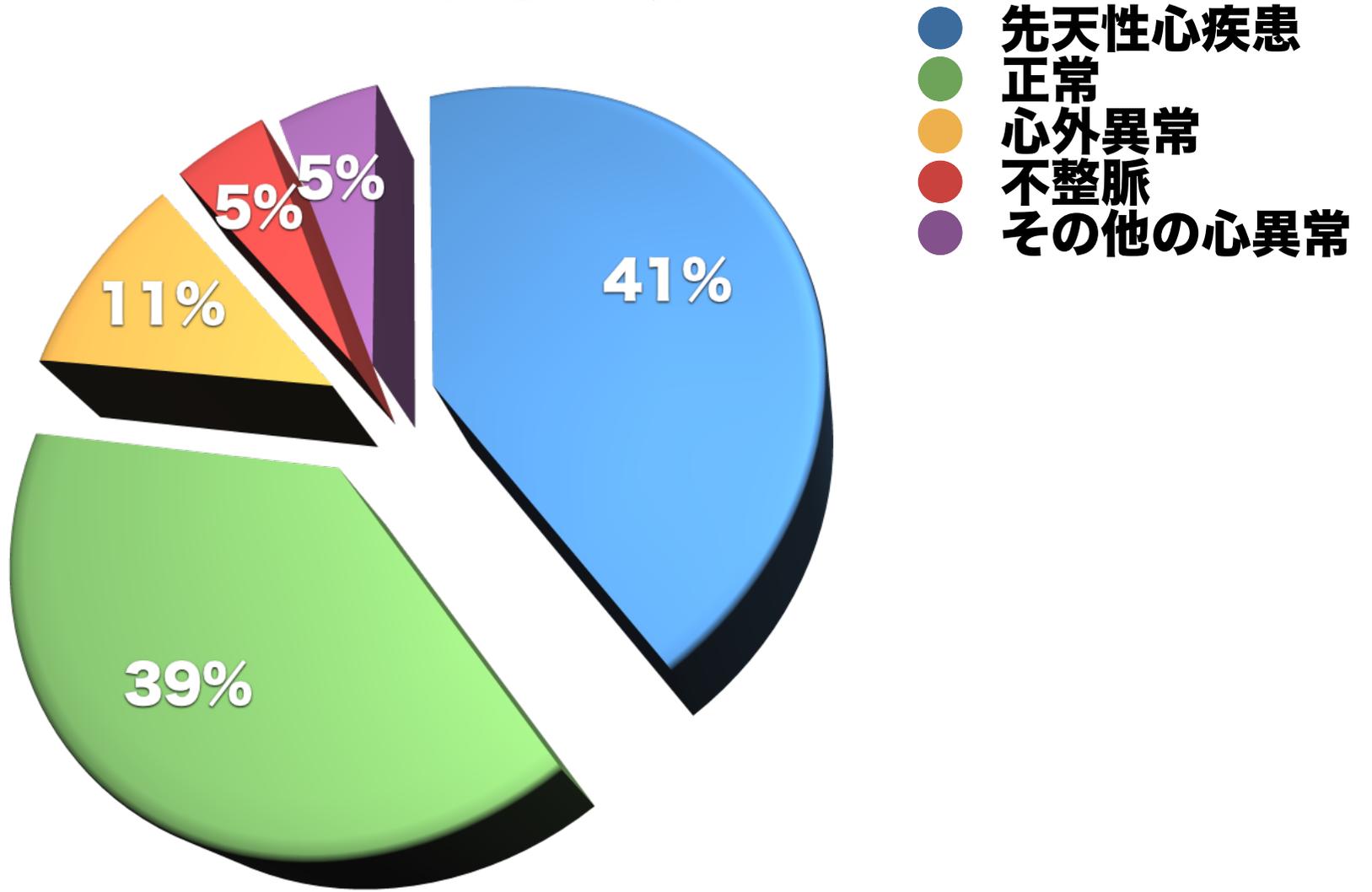


# Annual registrations





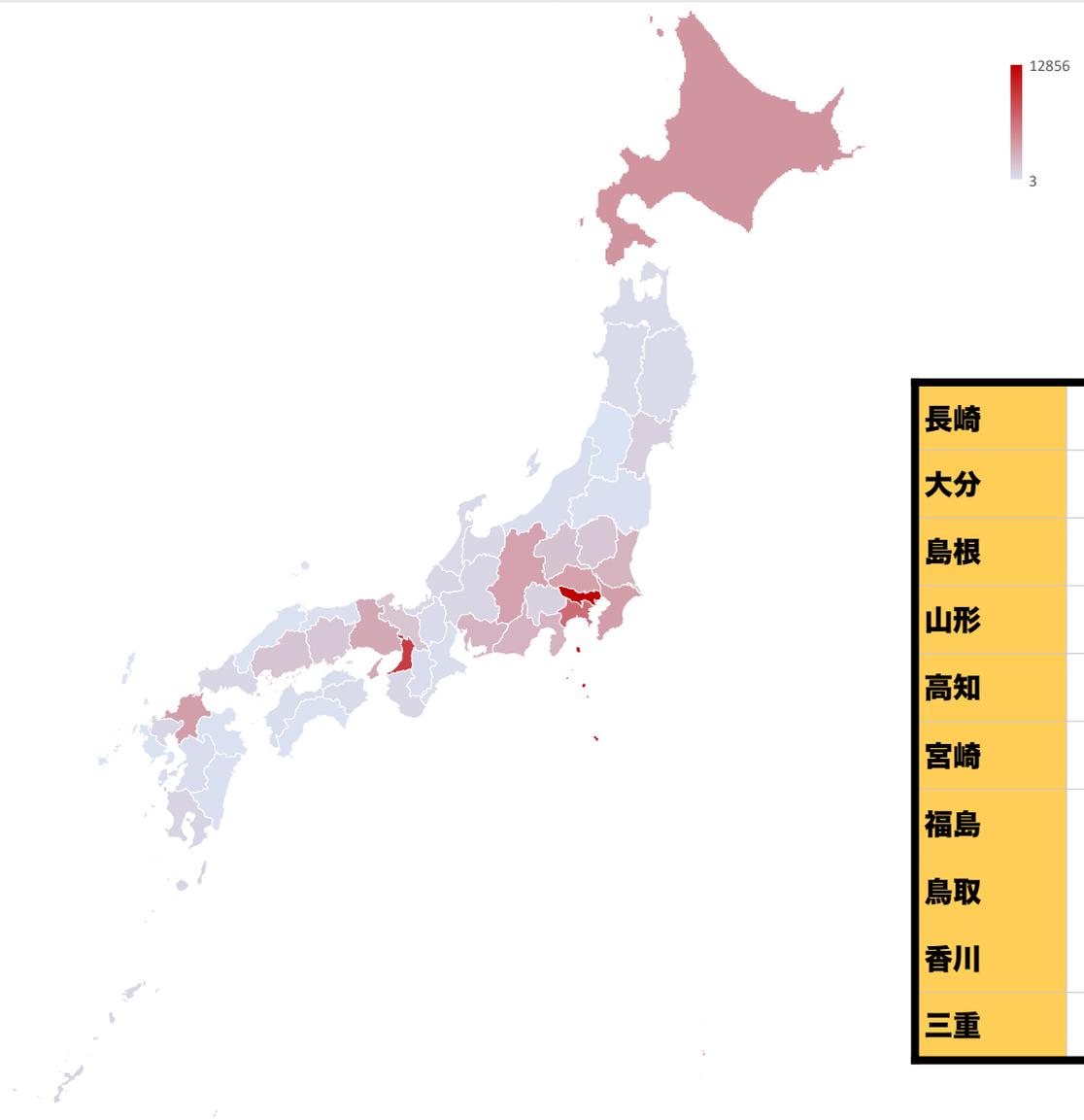
# 疾患分類





# 県別登録件数

東京	15111
大阪	10747
神奈川	8658
北海道	5332
千葉	4734
福岡	4481
埼玉	4346
長野	3993
兵庫	3790
静岡	3241

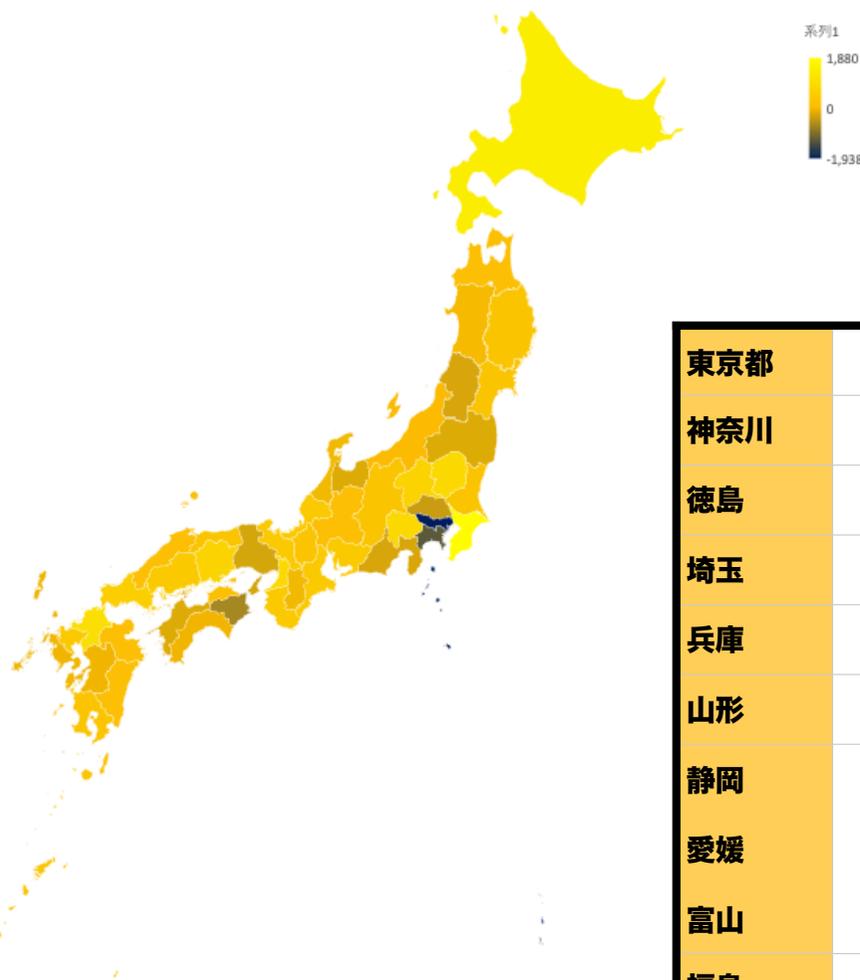


長崎	49
大分	55
島根	84
山形	115
高知	130
宮崎	190
福島	199
鳥取	220
香川	326
三重	334



# 2014-2019 県別登録件数とNDBオープンデータとの比較

千葉	1,880
北海道	1,343
福岡	987
大阪府	829
栃木	764
山梨	720
岡山	649
群馬	599
山口	437
広島	381



東京都	-1,938
神奈川	-1,230
徳島	-678
埼玉	-406
兵庫	-305
山形	-298
静岡	-274
愛媛	-249
富山	-238
福島	-229

登録件数-NDBオープンデータ

総数の差：56627-50923=5704

厚労省 NDBオープンデータ 第1回～第6回より

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177182.html>



## 先天性心疾患

<b>CHD</b>	<b>37448</b>	<b>%</b>
<b>VSD</b>	<b>6546</b>	<b>17.5</b>
<b>DORV</b>	<b>4309</b>	<b>11.5</b>
<b>TOF</b>	<b>3037</b>	<b>8.1</b>
<b>AVSD</b>	<b>3032</b>	<b>8.1</b>
<b>HLHS</b>	<b>2886</b>	<b>7.7</b>
<b>SRV</b>	<b>2244</b>	<b>6.0</b>
<b>SLV</b>	<b>464</b>	<b>18.7</b>
<b>dTGA</b>	<b>2064</b>	<b>5.5</b>
<b>Simple CoA</b>	<b>1297</b>	<b>3.5</b>
<b>IAA</b>	<b>621</b>	<b>1.7</b>
<b>TAPVC</b>	<b>428</b>	<b>1.1</b>

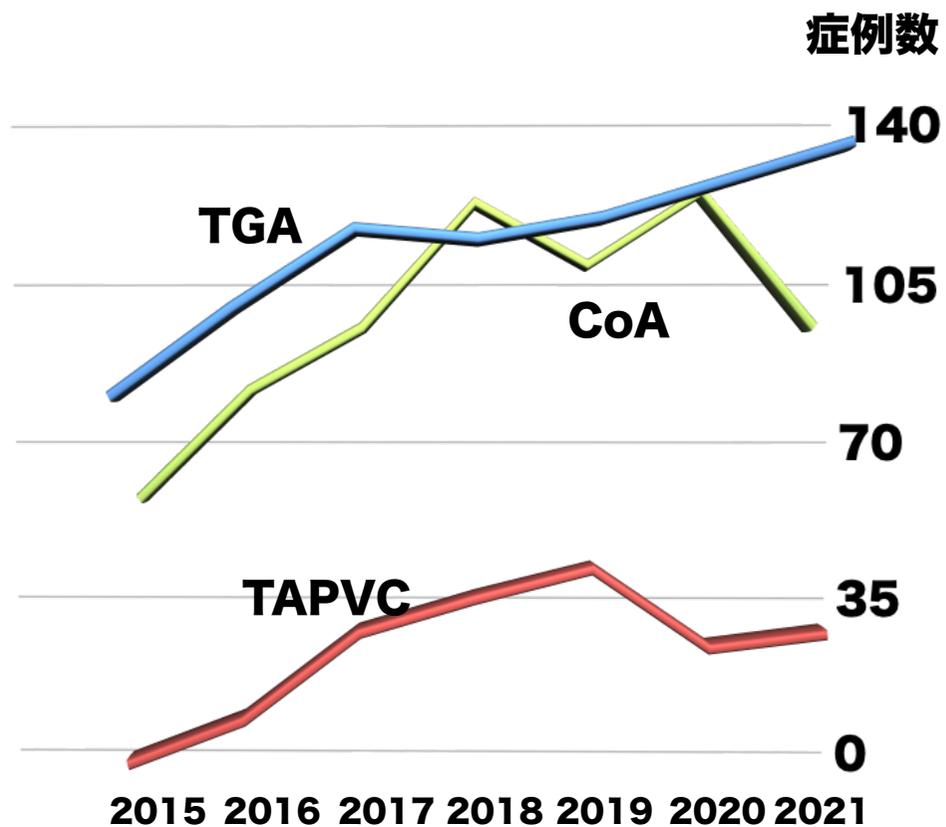


## 不整脈

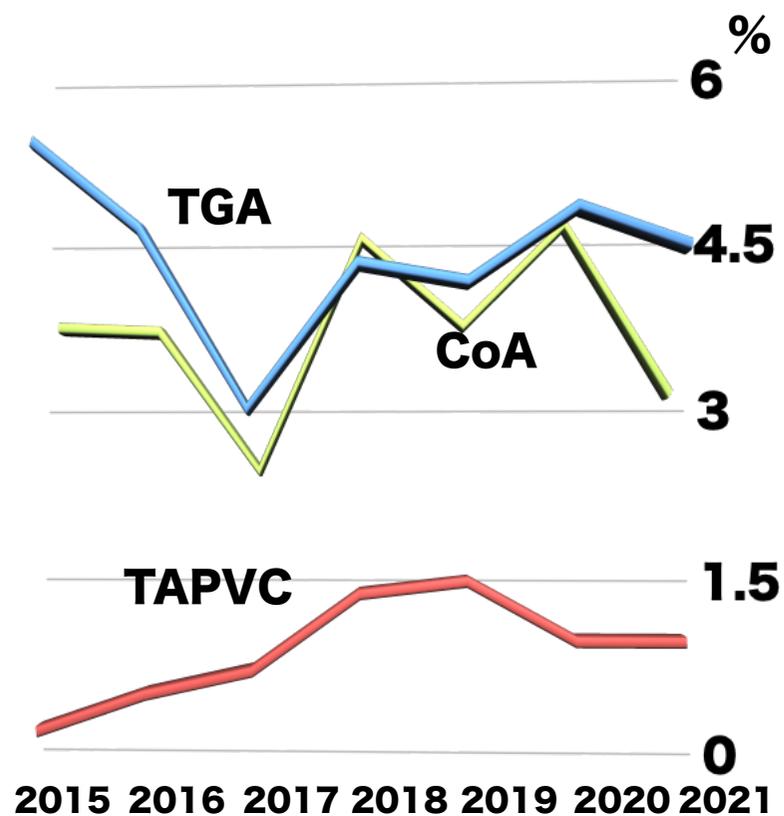
<b>Arrhythmia</b>	<b>4574</b>	<b>%</b>
<b>PAC</b>	<b>2027</b>	<b>44.3</b>
<b>CAVB</b>	<b>544</b>	<b>11.9</b>
<b>PSVT</b>	<b>390</b>	<b>8.5</b>
<b>PVC</b>	<b>378</b>	<b>8.3</b>
<b>AF, Af</b>	<b>308</b>	<b>6.7</b>
<b>VT</b>	<b>58</b>	<b>1.3</b>



## 症例数(初回の検査数)



## 胎児診断CHDに対する割合





## まとめ

- ✓近年の登録は約10000-14000件と急速に増加、疾患分類では先天性心疾患が41%、正常が39%、不整脈が5%、心外異常11%と経年的変化はない。
- ✓登録数は、大都市圏の東京、大阪、神奈川、北海道が上位で5000件以上、登録の少ない県は中国、四国、東北、九州の一部の県であった。
- ✓2014-2019年のNDBオープンデータとの比較では、総数の差は登録数の10%程度で、登録の数が100件以上多い県が24件、レセプト件数の100件以上多い県が11あり、レベルII胎児心臓超音波検査とレセプトの不一致が認められた。
- ✓先天性心疾患では、四腔断面の異常を示すものが多く、dTGA、Simple CoA、TAPVCが登録数が少ない。